

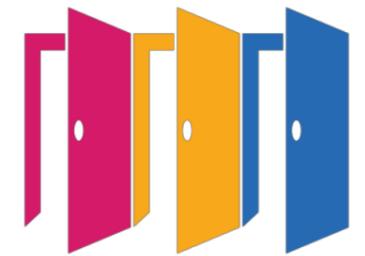
4月 会員夫人誕生日 おめでとうございます

- 4月 4日 夏 明義会員夫人 敏子様 4月10日 岡本真一郎会員夫人 定子様
 4月23日 松田禎胤会員夫人 美保様

4月度定例理事会議事録

1. 打上げ家族旅行について、6月12日(土)～13日(日)に、場所は池田 伏尾温泉不死王閣が計画されていることが報告された。ホテルの送迎バスを難波まで出してもらえるよう要請中とのこと。
2. 2021-22年度の地区補助金を利用した奉仕活動、「子ども食堂」への支援として、大阪市中央区 北御堂内にある「中央区こどもの居場所連絡会」に業務用冷蔵庫・冷凍庫の寄贈を計画していることが報告された。そして被災地支援も兼ねて、災害被災地の特産物(お米など)をクラブで購入し、子ども食堂へ寄贈する方向であるが、現在は新型コロナウイルスの影響で子ども食堂が休止中であるため、出来る支援を都度考えていくことが話し合われた。
3. 新型コロナウイルス感染拡大中の例会開催について話し合われ、大阪市が「まん延防止等重点措置」の対象として適用を受けている期間内の例会は、休会とすることが決定した。
4. 4月14日(水)の友好ゴルフコンペは予定通り開催するが、新型コロナウイルス感染拡大につき、その後の会食については中止とすることが報告された。

WEEKLY BULLETIN
OSAKA
NAMBA
 大阪難波ロータリークラブ週報



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
 2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
 「ロータリーは機会の扉を開く」

(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
4月8日(木) 休会の為、ありません	4月15日(木) 休会の為、ありません	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

♪ R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y, That spells Rotary.
 ROTARY is known on land and sea.
 From North to South,
 From East to West,
 He profits most who serves the best;
 R-O-T-A-R-Y, that spells Rotary.

4月8日(木)は例会の予定でしたが
大阪市にまん延防止等重点措置が
 適用されたため
 本日は休会といたします。

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥90,000
本日までの累計	¥2,056,500 (61%達成)
4月末の予算額	¥3,330,000

出席報告		
	前回 4月1日	3週前 3月11日
会員総数	60名	
出席会員数	39名	出席免除を除く MUを含む
出席率	72%	修正出席率 64.70%

米澤 勉 会員

Rotary

Vol. 49

「テーマ 大阪難波RC 3つの魅力」

世代を紡ぐ
インタビュー

二〇一三年九月、夏元会長に紹介をいただきまして大阪難波RCに入会しました。同じ年度に入会した同期は現在4名です。網干会員、福田会員、松田会員、森田会員です。これまでも私が委員会を担当する際に、分からないことなどの相談にのってもらっています。役立つアドバイスもいろいろも助けてもらっています。

先日、ガバナー補佐が難波RCに訪問された時に「大阪難波さんは年齢層のバランスもいいし、なにより活気があるから羨ましい」と仰られたとき、嬉しいと思いました。僕が思う難波RCの魅力は3つあります。

1つ目は、学ぶことが多いということです。どなたも謙虚で、お人柄がよく知性と才力に溢れておられます。豊かな経験とこれまでの功績を自慢することなく、奉仕の精神を忘れることなく、自分も他人も大

事にしておられます。これまでも、先輩が後輩に対して目線を合わせてしっかりと教えて頂いています。また、間違えたことに対しては、きちんと指摘いただき見本まで見せて下さります。愛情をもって指導いただけることは本当に有難いと思います。

2つ目は、いつも新鮮な気持ちで例会に参加できることです。

十二時頃から身だしなみを整えられた会員の皆様は例会に来られます。優しいお声がけや、例会中の緊張感、卓話では毎回たくさんのお話があります。ついつい服装など緩んでしまつてもありますが、手元、足元、首元などの身嗜みの重要さを教わり、細かい部分に拘ることににより全体の完成度が高まる。神は細部に宿る。意味が理解でき心にしみました。

3つ目は、メリハリがあるということです。行事のために事前から入念に準備をされ、終わるまでは真剣ですが、その後のお酒の席では力を抜いて、心の底から談笑ができることも魅力です。「大統領の様に働き、王様の様に遊ぶ」の言葉の様にオン・オフがしっかりして真剣に物事に取り組まれることが素晴らしいと思います。

会員は年齢も職業も違いますが、多様性を互いに認め合って、難波のため、みんなのためになるかどうかを常に考えておられます。

素晴らしいクラブに入会させていただき、いつも皆様が優しくしてくださり、感謝いたします。今後とも指導のほど宜しくお願いします。

これからの予定

3月25日(木)～4月30日(金) 献血週間	4月14日(水) 友好ゴルフ(万壽ゴルフクラブ)
4月15日(木) 例会中止	4月22日(木) 例会中止
4月29日(木・祝) 休会	5月1日(土) 春のRYLAオンラインセミナー

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
 会長: 川口栄計 幹事: 福田 忠 会報・雑誌委員長: 三島敏宏 事務局: 安部亜希子
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

4月は「母子の健康月間」です

前回の記録 第27回 4月1日(木)

★来客紹介：三島友好委員

ゲストスピーカー 徳谷章子様
千田会員のゲスト 山川正時様



徳谷章子様 山川正時様

★会長報告：川口会長

1. こんにちは。本日の会長報告を行います。まず本日の卓話者、徳谷章子様、そして千田元会長のゲスト山川正時さん、どうか時間の許す限りごゆっくりお寛ぎください。
2. 大阪でのコロナ感染者の拡大が、大いに危惧される所でありますが、例会の開催に際し本日の理事会にて慎重に意見交換し判断してまいりたいと思います。

3. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、ロータリアンであった歴代アメリカ合衆国大統領をレポートしたいと思います。この議題に関しては沢山ありますので、次々週のレポートと2回に分かれます。今回は1ページですが、次は4ページになります。またロータリアンとしての大統領は共和党出身のイメージがありましたが、当初の大統領やJ・F・ケネディーなど民主党の大統領もいることも付記しておきます。

まずウィルソン第28代民主党大統領、パーミンガムRCであります。第一次世界大戦に中立から一変、ドイツに宣戦布告し休戦に持ち込み、パリ講和会議に出席し、ベルサイユ条約を締結の功によりノーベル平和書を受賞しています。

次にウォレン・ハーディング第29代共和党大統領、ワシントンDC RCです。所得税の累進性を弱め富裕層を優遇し、保護貿易政策を取り外国製品に高関税をかけました。まさに先ほどのトランプ大統領と酷似していますが、この時の敵国は中国ではなく日本でした。軍縮を口実に日本の海軍戦力の制限と日英同盟の破棄を行い日本の台頭を防ぎアメリカの極東での覇権を確立したことにおいて評価されています。

次にハーバート・フーヴァー第31代共和党代大統領、ブリュッパRCであります。日本ではフーパーと発音されておりました。かの世界恐慌の引き金となる数々の失策を実施した大統領として有名であります。

次に最も著名なフランクリン・ルーズベルト第32代民主党大統領、アルバニーRCであります。ニューディール政策を実施し恐慌のどん底からアメリカ経済を回復させたとして教科書にも載る人

物です。また史上初の4選を果たした大統領ですが、第2次世界大戦の影響が大きく、真珠湾攻撃からの日本への宣戦布告、マンハッタン計画の推進、日系アメリカ移民の強制収容を行いました。最後に巻頭に書いてありますが「ロータリアンが選挙で選ばれる政治家などになるのは出来るが、政治家などが新たにロータリークラブに入会することは出来ません」とあります。先般、奈良県庁にて所用で山本のぶあき県議会議長とお会いしましたが「ロータリー頑張ってるか？」と聞かれ「わしも明日香ロータリーに出席してるで」と仰ってましたが奈良県では関係ないのでしょうか？(笑)おそらく明日香RCの細則を変更されてのことだと思います。これにて本日の会長報告を終わります。

★幹事報告：福田幹事

本日例会終了後、定例理事会を開催しますので、理事役員の方はご出席下さい。

★委員会報告

◇社会奉仕委員会：米澤委員長

本日、まいどなんば献血ルーム黒川所長がご挨拶にお越しくださいました。コロナ禍で色んなルールが変わっております。献血にご協力よろしく願いいたします。



◇国際交流三姉妹委員会：松田委員長

三姉妹合同例会が中止となりましたが、三姉妹世界共同社会奉仕事業として大型タッチパネルテレビ2台を台中の小学校へ寄贈しております。当クラブから1000ドルを台中西南RCへ送金させていただきましたのでご報告申し上げます。また、国際大会はリモート開催に変更となりました。

◇友好委員会：森委員長

本日、ゴルフコンペの締め切りとなっております。よろしく願いいたします。

★ニコニコ箱報告：森田副SAA

地区ローターアクト委員会副委員長樋口晃様

：昨年は大変お世話になりました。コロナ禍でご挨拶に行けずすみませんでした。貴クラブのローターアクトクラブの発足を楽しみにしております。

川口栄計：日高さん、坂本さん、入会おめでとうございます。末長くよろしく願いします。歓迎いたします。

福田 忠：2年前米山奨学生のカウンセラーの機会を頂きまして、先月で終了致しました。こんな時ですので孫舒凡君が例会

に来てないのですが、コロナがましになればお礼のご挨拶に来たいと申しております。私も貴重な経験をさせて頂きました。当時の岡西会長に感謝申し上げます。ありがとうございました。

白野陽一：明豊まさかの決勝進出、大分盛り上がってました。

伴井敬司：45回目の結婚記念日、自祝。家内に感謝。

西野文秀：日高さん、坂本さん、入会おめでとうございます。楽しいロータリーライフをご一緒しましょう。後、マン防どうしましょう。

石川益三：誕生日、自祝。

久保幸一：入会記念日、自祝。

森田 納：例会欠席お詫び。

上杉竜太郎：日高さん、坂本さん、御入会おめでとうございます。これから宜しくお願い申し上げます。コロナ感染者増えてきています。皆様感染症対策にご協力お願い申し上げます。

中川博之：日高さん、坂本さん、ご入会おめでとうございます。これからロータリーライフを一緒に楽しみましょう！！

荒山義雄：例会欠席お詫び。

東村賀文：明日、誕生日54才です。今回異動ありませんでした。今年度もよろしくお願い致します。

日高雅哉：本日、入会させて頂きます。皆様よろしく願います。

坂本正樹：本日、入会させて頂きました。よろしく願います。

★卓話 テーマ 母子の健康月間卓話 「コロナを乗り越える」

卓話者 徳谷章子様

卓話担当者 福田忠会員

(福田忠会員) 特定非営利活動法人ハートフレンド代表理事の徳谷章子さんをご紹介します。2017年4月に母子健康月間に卓話をして頂き、2019年には三姉妹のRCと共に世界共同社会奉仕事業として、学習教材としてアイパッド5台とノートパソコン1台を寄贈させて頂きました。ご活動としましては、子どもが主人公となる居場所づくりとして、地域での子育て支援を行っておられます。

(徳谷章子様) 皆様こんにちは。私は特定非営利活動法人ハートフレンド代表理事をしております徳谷章子です。皆様にお会いするのは三度目です。皆様はお元気でしたでしょうか。私事ですが、2019年に大阪難波RC様より表彰していただいたその年の12月13日にくも膜下出血で倒れてしまいました。元々血圧は120ぐらいでしたが、その年は寒くて夏でもカイロを貼っていたことを憶えています。1月3日によろやく目があき、主人や息子や娘に会うことができました。娘は

二人いて、長女は群馬にいますが、夜行バスで帰ってきました。1月初旬まで日赤病院におり、次は3月24日までリハビリテーションで森の宮病院にいました。トータル4ヵ月病院にいたことになります。その後、退院後もリハビリを続けて、少しずつ回復して、記憶も徐々に戻ってきて、日常生活にほとんど支障がないほどになりました。まだ、失語症がありますが、2年ぶりに元気で皆様にお会いできたことに大変感謝しております。

今日は、コロナに向かって頑張っている子どもたちや保護者、そして私たちのお話をしたいと思えます。どうかよろしくおねがいします。

2年前に大阪難波RC様から5台のアイパッドと1台のパソコンとして多額の寄付を頂きました。当時ハートフレンドのてらこやには、70名ほどの子ども達がありました。1日に約14名子ども達が来ていました。4時から始めて30分経過後に5名ずつ10分間アイパッドで楽しめます。子どもたちは、嬉しくて夢中になってやりました。自分の好きなことが出来るということは、その子にとってもいい影響があります。コロナの影響が始まり、てらこやや放課後等デイサービスに来る子どもは減りましたが、アイパッドがある事で元に戻ると思っています。この様に大阪難波RC様よりご寄付頂いたことは子どもや保護者にとって役立っており、改めて感謝いたします。私は、民生委員・主任児童委員もしていますので、先日地区の校長先生からエリア内のコロナ禍での子どもたちの状況を示すアンケート結果をいただきましたのでお伝えしたいと思います。

<小学生>

- ・不登校児童が増えた。児童の欠席日数が増えて、登校しぶりが目立つようになった。
- ・児童が体調を崩した際、登校させてもよいかどうか保護者から相談を受けるケースが増えている。
- ・肥満傾向にある児童が増加した。保護者の送り迎えが増えた(車や自転車)。

・「コロナが怖い」という傾向があり、生活リズムが作れない現状で不登校になっている。

- ・特別支援教育関係の相談が増えている。
- ・児童の体力が低下している。
- ・家庭内で問題が解決できなくなっている。
- ・コロナを理解し、我慢できる児童が増えた。
- ・保護者にゆとりがなくなり、家庭内における子どもたちへの支援が、質・量ともに低下している。

<中学校>

- ・学校行事がなくなり、互いの良さをきづくことへの機会が少なくなったことで、ストレスを感じている。
- ・虚無感から、うつや起立性調節障害などの診断を受けた生徒が出てきている。
- ・小さな生徒間トラブルが増えている。

- ・中・高校生の自殺者が増えた。
- ・ゲーム依存が増えた。
- ・保護者のアルコール依存や、DVが増え、学校と区役所での対応が必要となった。
- ・ゲームづけ、eスポーツが増えた。

以上がアンケート結果となります。懸念事項が多いですが、なかには、将来は医療関係などの社会に役立つ仕事をしたいなど明るい結果もありました。

これらの結果を受けて、私たちハートフレンドの活動が少しでも子どもたちの助けになれるようにしたいと思います。

次に、ハートフレンドの1年前の活動を紹介したいと思います。私たちの活動をささえる柱としては、「笑う」「出番がある」「誉めてもらう」ことを中心にしています。その中で、「てらこやワイワイクッキング」「みんなカフェ」「ひすみカフェ」ができました。

「ひすみカフェ」は、中学校との連携で、2017年から3年間、内閣府こどもの未来応援基金として始まりました。全国で応募の結果80団体ほど採用されました。大阪府では8団体の一つとなりました。

「ワイワイクッキング」は、桑津食事サービス委員会のご協力で発足しました。なんらかの理由で学校に行きづらい子どもたちを対象にしています。2017年から3年間継続しました。

「みんなカフェ」では自分でおにぎりとお味噌汁を作ります。安心して楽しい居場所づくりをしています。

「ひすみカフェ」は、中学校内に登校はできるが、教室に入れない生徒の居場所づくりをします。原則、学校が授業としている10時から12時、中学校とハートフレンド、保護者会の連携事業として立ち上げました。

ここからは、「てらこやワイワイクッキング」に参加した子どもの成長と心の変化を紹介します。

・Aさん5年生の女の子。自閉症スペクトラム障害。友達とのコミュニケーションが難しいので、ワイワイクッキングの参加は、知らない友達がいるので心配だったが、参加してからは皆と仲良くできて、学校が違うので気を遣わず友達も増えて楽しく思えるようになりました。そして、家でも進んで野菜を食べるようになり、お手伝いや譲り合う気持ちが出せるようになってきたと保護者から報告がありました。指導員からみたAちゃんは、友達と仲良くできたり、よく笑うようになりました。嫌いな食べ物を頑張って食べたり、休んでいるお友達を気遣う様子が見られて、とても成長したとのことでした。

・Cさん6年生女の子。発達障害がありコミュニケーションが苦手。つい言いすぎてしまうので、友達とトラブルをおこし学校に行きたくないと言っていました。ワイワイ参加後は、新しい友達もできスタッフや大人の方とも知り合いとなり嬉しくなったとのこと。ワイワイクッキングもご飯も最高と言う様になり、友達とのトラブルも減って進んで手伝いをしてくれるようになったとのこと。3年間ワイワイに通った結果、どう話したら相手に嫌な思いをさせないかと考えて話せるようになり、ワイワイに行くことが楽しみとなって学校も休まずに行ける

ようになったと保護者から喜びの声がきました。指導員からは、Cさんは皆のためにビンゴゲームをつくらしたり、食事作りを手伝ったりして、みんなからお礼を言われて嬉しそうでした。ハートフレンドのジュニア・リーダーとして頑張っており、学校でも代表的なことをしっかり務める事が出来て自信がついてきましたとのことでした。

ワイワイクッキングの良さは、「家庭的な時間を過ごす」「温かな時間」「安心できる人間関係」です。その時間が、子どもたちを変えていくように思います。子ども同士での育ち合いも大きな力になっており、続けていくことで学校に行きづらかった子どもたちも、笑顔が増えて通学できるようになりました。

次に今後の事として大阪市子どもサポートネットについてお話しします。このサポートネットは、「学校における気づきを区役所や地域などに繋ぎ、社会全体で子どもを支える為の区長のマネジメントによる新しい仕組み」です。この子どもサポートネットは、最初2年間は、7区で始まり今年から全区で始まりました。目的は、区役所、学校、そして地域が、すべての子どもたちの状況を把握して、子育て世帯を見守り支援していくということです。

区役所は、教育と保健福祉の分野をつなぐコーディネーター機能を新設しており。学校は、チーム学校としてスクリーニング会議I・IIを新たに新設して、一人一人の子どもたちの状況を把握して報告するという業務を作り、心配なことを早く見つけることができます。

地域は、民生委員の動きがほとんどで、まだまだNPOなどは入れないというのが実情です。

この様にして、生活困窮家庭や不登校家庭を主にした「子育て世帯」への支援に入ります。

私たちNPOハートフレンドは、これからもコロナ対策をして活動をしていきたいです。今回は良く聞いてくださって本当にありがとうございました。



本日入会された
日高雅哉会員、坂本正樹会員

今月お誕生日を迎えられる会員各位